

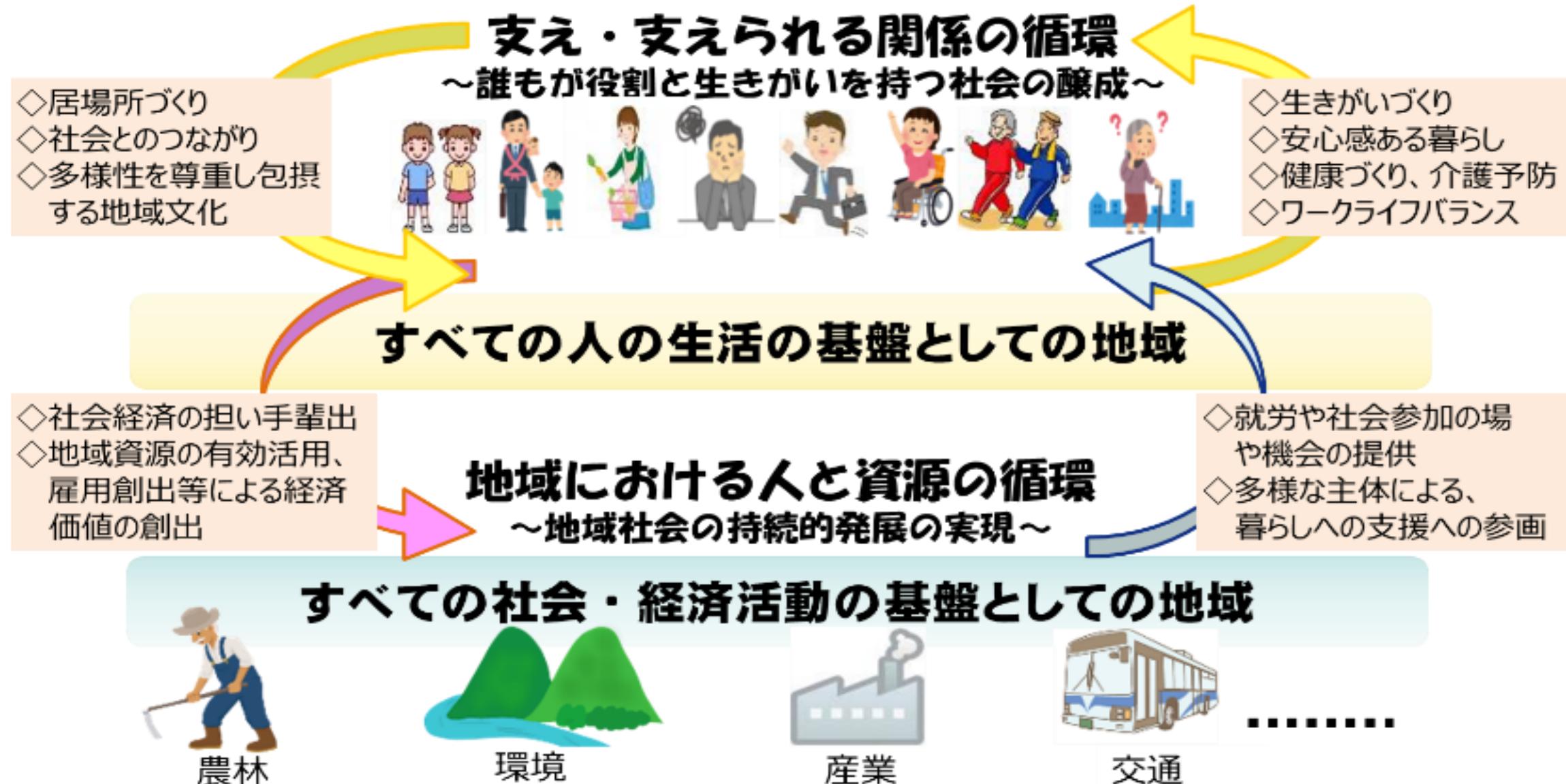
地域共生社会のコンセプトと実践

厚生労働省社会・援護局
地域福祉課長 野崎伸一

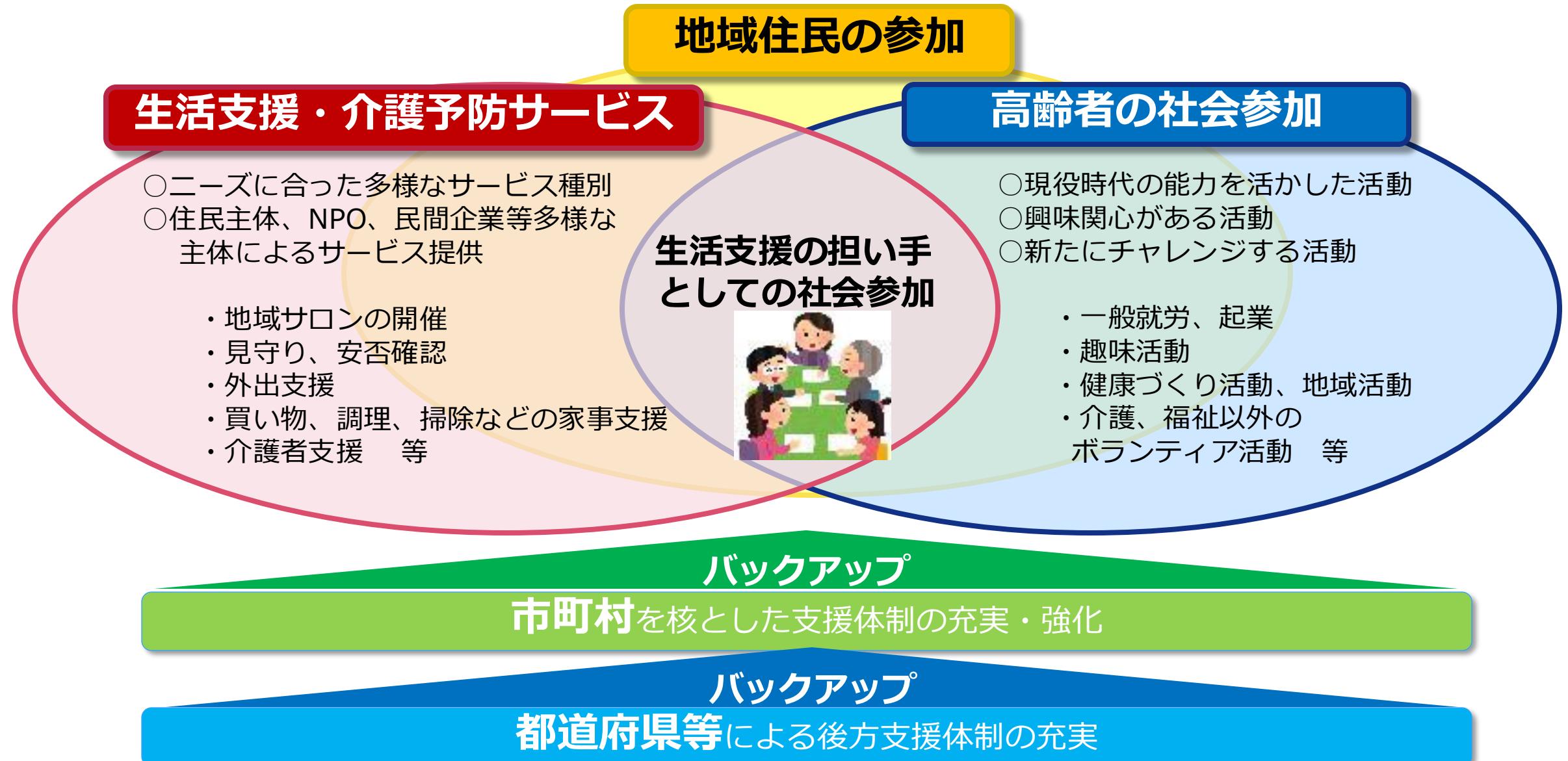
直面する課題と目指したい地域の姿

直面する 課題	<ul style="list-style-type: none">□世帯構造が大きく変化し、単身世帯が約4割に。□地域・家庭・職場など暮らしの領域における支え合いが弱まっている。□社会経済の担い手が減少し、持続が危ぶまれる地域も。
目指したい 地域の姿	<ul style="list-style-type: none">■ライフステージの各段階で、一人ひとりの状況に応じて、他者とのつながりを持ち、就労や地域活動などに参加できる■認知症になる、身寄りがいないなど、様々な困りごとがあっても、必要な支援を受けることができる■タテワリを超えた協働を生み出すことで、暮らしの安心（地域福祉）と、地域の持続的発展（地域経済）が循環する

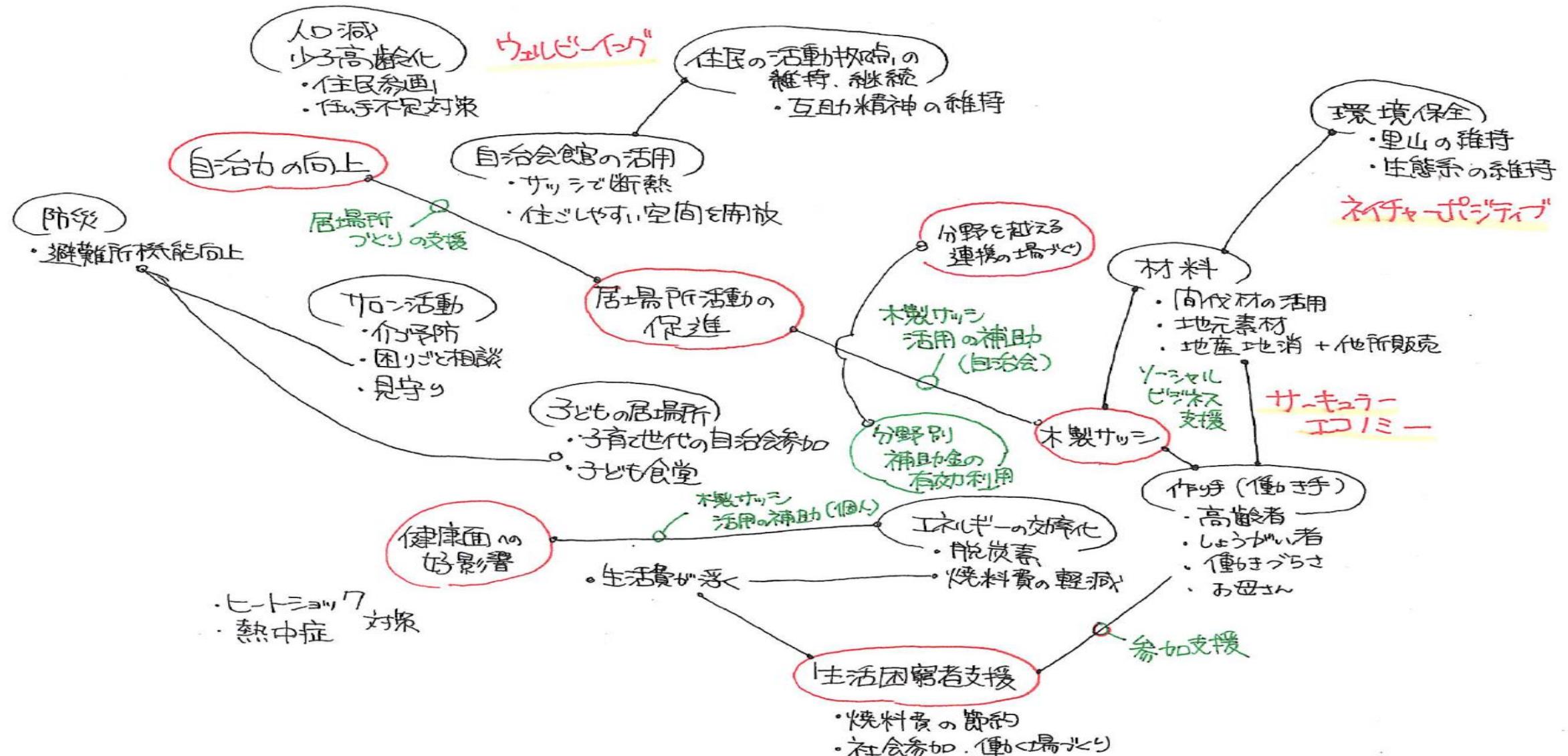
地域共生社会のコンセプト：地域で生み出す2つの循環



市町村による地域づくりの支援 ~介護予防・日常生活支援総合事業~



福祉×環境×α ~A市の社会福祉協議会の方の妄想~



ポイントと課題

- 地域にある価値を見いだす：里山も人も地域の資源
- 掛け算をコーディネートする：地域内と地域内外の協働
- 活動をどう持続させていくか：財政面でも、担い手の面でも